



運動会、温かなご声援をありがとうございました。

当日は気持ちの良いお天気の中、無事に運動会を開催することができました。

オープニングはそらさんの「ロックソーランでパラバルーン」。そらさんたちは20周年式典で卒園児の高校生が披露してくれたソーラン節に魅了され、式典の直後から“どっこいしょ！どっこいしょ”と大きな声が園内に響き渡っていました。(今はしいの実祭りに向けて保護者の皆さんもソーラン節も盛り上がっているところです！)



乳児クラスの子どもたちは、たくさんのお客さんを前に緊張もありましたが、いつも遊んでいることを存分に楽しむ姿が見られました。感想の中には、「本番は泣けてしまったけど、きっと普段は楽しんでいるんだろうな」と当日の姿だけでなく、日常の子どもの姿にも思いを馳せてもらえたことを嬉しく思いました。くまぐみさん(2歳児)は当日が楽しかったのはもちろんですが、翌週に幼児クラスと行なった運動会ごっこがとても楽しかったようです。そらさん、うみさんのパラバルーンだけでなく、最後にやまさんがやっていたボール拾い、どれも憧れます。その憧れのことをついにやれる！それだけで目がキラキラ輝いていました。玉入れも綱引きもりレーも何でも挑戦していました。来年への期待がますます広がりますね。

幼児クラスの子どもたちにとっても運動会は特別な日です。一人ひとりの運動会に対する思いもまたそれに熱い思いがあることを総練習の時から感じていました。“これをみせたい！”と自分で目標を決め取り組んでいました。幼児期になると周りが見え始め、“できる、できない”が分かるようになり、時には自分と友だちを比べたりします。その中で心が揺れたり、

“やりたくない”と訴えることもあります。でも、その背景にはうまくできない自分を受け止めながらも“できるようになりたい！”という思いをもっています。その気持ちの中で、仲間に支えられながらそれを乗り越えたり、努力を重ねたり、進み方も子どもたちそれぞれです。これからできるようになる子もたくさんいます。まだまだ運動会は通過点、子どもたちの挑戦は続いています。

また、行事が通過点だからこそ、その先も楽しいと感じます。もっとやりたいもっとこうなりたい！次はこれをやってみたい！どんぐり保育園の運動会のねらいでもある、“次へのステップ”です。子どもたちの更なる成長が楽しみです。

“運動会”から“しいの実祭り”へ～大人が繋ぐバトン～

運動会2部の保護者会競技は今年も盛り上りましたね。白熱した綱引き、うみぐみさんの強さには圧倒されました。大人が本気で楽しみ、輝いている姿を見せることが子どもたちにとって大事なひとつです。保護者が楽しんでいる姿は必ず子どもたちに伝わります。これからも子どもも大人も一緒に楽しい保育園生活にしていきましょう。運動会実行委員の皆さん、準備等ご協力ありがとうございました。

運動会の次は、しいの実祭りへ大人のバトンが繋がります。子どもたちに負けないよう、大人も力を合わせてバトンをつないでいきましょう！

